

「ふれあい交流会」の参加者募集のお知らせ



バーベキューを囲んで交流する参加者の皆さん

交流会後も懇親できるようなったと思われず。女性からも「楽しい時間を過ごせました。出会いを大切に、次につなげていきたい」とうれしい言葉が聞かれました。

■第3回「ふれあい交流会」の参加者を募集します！

■婚活支援で交流会を開催

甲佐町産業後継者育成対策協議会主催の第2回「ふれあい交流会」を、8月1日(日)に川平キャンプ場で開催しました。男性5人と女性4人が参加して、バーベキューを囲み和気あいあいと交流を深めました。

初めて出会ったとは思えない和やかな雰囲気の中で歓談し、後半には3組のカップルも誕生。交流会終了後には女性全員の参加で男性の皆さんが事前に計画した2次会へと移動。3次会まで交流を楽しみました。

開催する度に、参加者にも意識の変化が現れ、「自分の好みの相手だけを探す」から、「みんなで盛り上げて楽しむ」、「まずは友だちをたくさん作る」といった積極性が見られます。その姿勢が女性にも伝わり、

- ▼開催日 10月3日(日)
- ▼対象年齢 25歳〜39歳
- ▼募集人数 男性10人、女性10人
- ▼参加費 男性4,000円、女性2,000円
- ▼集合時間・場所 男性・午前8時30分(町農業研修センター)「ろくじ館」(駐車場)、女性・午前9時15分(交通センター)
- ▼交流会場 阿蘇ミルク牧場(手作り体験、バイクングなど)

現在、登録女性は5人まで増えています。独身男性の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。また、町内在住の独身女性の皆さんも、ぜひご参加ください。

▼お申し込み・お問い合わせ先

- ・甲佐町産業後継者育成協議会
- 「ふれあい交流会」専用ダイヤル ☎080・1705・5339
- (事務局・藤本)
- ・「ふれあい交流会」専用メール

☒kosa-hu-kouryukai@docomo.ne.jp

町産業振興課 ☎096-234-1111(内線153) ☒k1g207@town.kosa.lg.jp

■薬代の負担を軽くするために

ジェネリック医薬品は、医療費負担軽減のために多くの先進国で広く利用されています。

日本でも積極的に取り入れて、ふくらみ続ける医療費を適正化するための取り組みが進められています。

■新薬と同じ有効成分で製造

ジェネリック医薬品とは、後発医薬品とも呼ばれ、新薬の特許期間が過ぎたあとに販売が許可される医療用医薬品のことです。

一般的に、新薬の開発には長い時間と多くのコストが掛かりますが、特許期間中は、開発メーカーが独占的に新薬を製造することができます。しかし、この特許期間が過ぎれば、ほかのメーカーも同じ主成分の薬を

作ることができます。これがジェネリック医薬品で、研究費や開発費が抑えられている分、新薬よりも安く提供できるのです。

新薬と同じ有効成分をもとに開発・製造され、同様の安全基準を満たした信頼できる薬です。

ただし、有効成分以外の添加剤はメーカーごとに微妙な違いがあり、ほかの薬などとの飲み合わせが変わってくることもあります。

■使用するには処方せんが必要

使用するには、医師の処方せんが必要となります。まずは、かかりつけの医師や薬剤師にご相談ください。また、すべての治療薬にジェネリック医薬品があるわけではなく、治療内容によっては適さない場合があります。

もし、自分から言い出しにくい場合には、ジェネリック医薬品の処方希望するカードを使って、意思を伝える方法もあります。希望カードは、町住民生活課窓口にもありますので、気軽にお問い合わせください。一人ひとりの小さな節約が、やがて未来への大きな力となり、医療保険制度を守り続けることにつながります。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

薬代の負担を軽くするジェネリック医薬品



医療費負担軽減のために、活用してみませんか？

町住民生活課 ☎096-234-1111(内線106) ☒k1g107@town.kosa.lg.jp

史跡「陣ノ内館跡」発掘調査レポート# 2



平成21年度調査で出土した「椀型滓(わんがたさい)」

■ 出土した「椀型滓(わんがたさい)」を基に館跡を考察

この右の画像は、平成21年度の発掘調査で出土した「椀型滓(わんがたさい)」と呼ばれるもので、鉄滓(てつさい)の一種です。

鉄滓とは、鉄や鋼を作るため砂鉄を溶かした際にできた不純物です。砂鉄から鉄を作る場合、純粋な鉄は1割程度で全体の9割が不純物ともいわれます。

時代劇などで見られる日本刀は、中国の刀やヨーロッパの剣と異なり、鉄の中でもさらに精錬された鋼を用います。この椀型滓は、その精錬とよばれる鍛冶(かじ)行程で出来たものです。

鉄は、武器のほか、斧(おの)や鎌(かま)など日常生活でも広く使

われていましたが、鉄自体は錆(さ)びますので、城や集落には必ず鍛冶を行う作業場があったと考えられます。

■ 発見された南側の堀の近くに鍛冶場の存在を推察

もちろん、陣ノ内館跡にも鍛冶場があったと思われるが、部分的な調査のため、鍛冶炉や作業を行った建物の跡は確認できていません。しかし、この陣ノ内館跡から鉄滓が、しかも鋼を作るための鍛冶行程で出来る椀型滓が出てきたことは、非常に大きな意味を持ちます。

鉄滓は、一般には廃棄されるくずですので持ち運ぶものではありません。当然、出土した場所の近くで鍛冶が行われていたことが想定されます。この出土した椀型滓は、平成21年度の調査で新たに発見された南側の堀から出てきたものであることから、鍛冶は南側の斜面近くのちょうど真ん中あたりで行われていたことが想定されます。しかも、戦に備え刀を作っていたようです。

このように、発掘調査では、直接見ることはできない昔の生活を、出てきた物や場所から意味を考へることのできる生活状況を復元することができます。

町教育委員会社会教育課 ☎096-234-1111(内線324) ✉klg110@town.kosa.lg.jp

■ 意識改革から始めましょう

男女共同参画社会とは、男女共同参画社会基本法第2条で「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と定義されています。しかし、そのような社会を実現するためには、あらゆる分野においてさまざまな課題があります。

一番身近な課題は、私たちの意識面にあると思います。県の男女参画に関する意識調査(平成21年12月実施)によると、県民の65%が男女の地位について「男性が優遇されている」社会と感じて

男女共同参画社会は、まず、意識改革から！



男女が共に、個性と能力が発揮できる環境作りを

おり、「社会通念・慣習・しきたり」の分野では77%となっています。

また、固定的性別役割分担意識に「同感する」または「どちらかといえば同感する」人が、男性や高齢者に多い傾向があるとされています。

■ 仕事と生活の調和が大切です

生き方の価値観が多様化し、結婚、出産をしても仕事を続けたい女性が増える一方で、仕事中心の生活を改めたい男性も増えています。男女ともに仕事と家庭が両立できる社会や会社を求めていることが伺えます。

男女が共に責任を担う社会を作り上げるためには、家庭や学校、職場や地域において、男女の個性と能力を発揮できるような環境作りが重要ではと考えます。

結婚して8年、共働きのわが家でも、今は、性別役割分担を除外して、少しずつですがお互いを尊重し、「出来る方がする」の意識を持つて支え合っています。

皆さん、男女共同参画社会について一緒に考えていきましょう。

▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会(事務局・町住民生活課内)

☎096-234-1111
(内線102)

町住民生活課 ☎096-234-1111(内線102) ✉klg106@town.kosa.lg.jp